

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	都市計画課
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2455
	基本事業	豊かな居住環境の充実		事業実施主体	その他
	事務事業	高松丸亀町商店街再開発事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	中央商店街の活性化と土地の合理的かつ適切な高度利用による都市機能の集積を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づき高松丸亀町商店街において、商業・サービス業の魅力強化と効果の波及や来街者の回遊性向上、まちなか居住の促進に資する市街地再開発事業等を推進する。				
3年度概要	大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援（H30繰越） 大工町・磨屋町市街地再開発事業に関する指導・支援事務費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


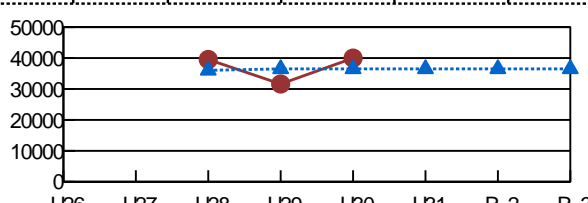
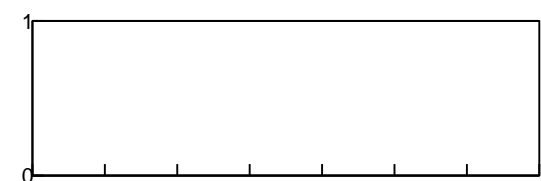
【事業の目的】

対象（何を）	高松丸亀町商店街
意図（どのような状態にしたいか）	丸亀町商店街において、再開発事業を推進することで、商店街のにぎわい創出を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
補助金の交付件数	件	1	0	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
丸亀町商店街の通行量	人	目標値	36,028	36,500	36,500	36,500	36,500
		実績値	39,532	31,612	39,978		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市街地再開発事業の実施により、商店街のにぎわい創出につながり、丸亀町商店街の通行量が増加した。 						(達成度) 109.5%	35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	28,184	10,854	42,797	91,618
（事業費）	[円]	16,957	80	25,404	74,225
（職員人件費）	[円]	11,227	10,774	17,393	17,393

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	------------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成31年3月に市街地再開発の設立及び事業計画が認可されたことから、今後、事業実施に必要な資金の調達が進められるよう事業内容を精査し、事業主体を指導・助言する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

再開発事業の根幹である権利変換計画認可に向け、地権者との合意形成を整えつつ、再開発事業計画の事業安定性等を確認しつつ、財政支援を行なっていく。